



# 会報

## WEEKLY REPORT

2022-23 R.I.会長

ジェニファー E. ジョーンズ  
第2500地区第6分区帯広北ロータリークラブ  
会長/木戸辰浩  
副会長/福田和彦  
幹事/及川悟

[四つのテスト]1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

### 第3054回 例会報告

2022.11.18

●例会日/金曜日 (12:30~13:30)  
●例会場/ホテル日航ノースランド帯広  
●事務局/帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F  
TEL 0155-25-7347

- 点鐘 福田 和彦 副会長
- ロータリーソング (我等の生業)
- 副会長挨拶 福田 和彦 副会長



皆さんこんにちは

11月23日は勤労感謝の日です。そして新嘗祭でもあります。新嘗祭とは、天皇が国家、国民の安定と繁栄のために神に祈願する目的とした宮中祭祀のひとつで、その年収穫した五穀を天と地の神々に供え、その年の収穫に感謝する日でもあります。昔は新嘗祭の日まで新米を食べてはいけないと言われていたそうです。それは稲を手で刈っていたころ、9月頃から収穫し始め米粒が米俵に入るまで2か月ほどかかり、ちょうど新嘗祭ある11月ころでした。加えて神様や天皇より先に新米を食べることは恐れ多いという考えがあったようです。

11月23日は秋の収穫を祝う新嘗祭の日として広く知られていましたが、戦後間もない1948年GHQの影響を受けた政策により勤労感謝の日に改められました。法律では勤労感謝の日を、勤労を尊び、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう日と定義つけています。秋の収穫に感謝する新嘗祭は、普段何気なく食べているご飯や おかずの食材のありがたみに感謝する良い機会です。毎日食事ができることに感謝しましょう。そんなことを思いながら勤労感謝の日を過してみませんか。以上で挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

#### ■会務報告 及川 悟 幹事

- ①11月25日 (金) 18:30~ ジグザグ 夜間移動例会 ⇒ 休会
- ②12月2日 (金) 12:30~  
ホテル日航ノースランド帯広 通常例会  
※スクール形式・通常会食で行います  
プログラム: 年次総会(理事・役員)
- ③12月8日(木) 18:30~  
ホテル日航ノースランド帯広 夜間例会  
※スクール形式・通常会食で行います・木曜日の開催となります

プログラム: ゲスト卓話  
帯広市経済部商業労務課消費係  
係長 鷲北博様 (職業奉仕委員会)

④12月16日 (金) ボーリング大会 ⇒ 休会

⑤12月23日 (金) 12:30~

ホテル日航ノースランド帯広 通常例会

※スクール形式・通常会食で行います

プログラム: 年末最終例会(親睦家族委員会)

#### ■ニコニコボックスの発表 福田 和彦 副会長

・結婚記念日のお祝いを頂きありがとうございました。 神田 京介 会員

・誕生日に記念品を頂きありがとうございました。

石井 宏治 会員

・お花ありがとう

長谷川 道正 会員、

・今日はくもりです

萩原 敬一郎 会員

・展示会ありがとうございました

石岡 幸雄 会員

・父の葬儀に際はお世話になりました。ありがとうございます。

川端 正幸 会員

#### ■プログラム

##### 【会員卓話】

工藤 一則 ロータリー財団委員長

##### 【RLI解説】

1.RLIとは

##### 1) 概要

ロータリーリーダーシップ研究会 (Rotary Leadership Institute) はロータリアンの知識を啓発しモチベーションを高めリーダーシップを養成するために世界各地の地区に組織された会員地区の、草の根の他地区合同指導力育成プログラムです。3回の理事会と規定審議会を経て、国際ロータリーにて強く推奨されています。日本では、約30地区で取組まれています。

小グループ制によるファシリテーション手法を用いた対話を通して、ロータリアン一人ひとり



の自己啓発が指導力の向上とともにクラブを強化するプログラムとして導入されました。

2) 特徴

ロータリアン同士で語り合うことによってロータリーの知識を高め、ロータリーを知り、自らのスキルアップを行なっていく。

2. R L I の歴史

R L I は、1992年に米国ニュージャージー州 (第7510地区)で元R I 理事のデビットリンネット氏の発案で始められた研修組織です。

1994年には、ニュージャージー州でさらに3地区が参加し多地区の活動になり1998年には31・32ゾーン(米国北東部、中部太平洋岸、カナダの一部)まで広がり始めました。

R L I プログラムは、2001年の国際協議会のスピーチのなかで取り上げられ、指導力成功談としてR I ウェブサイトに掲示されるとともに、2002年3月のR I ニュース・バスケットの記事になりました。同時に、R I 理事会は、地区やクラブがR L I およびこれに類似したプログラムに参加することを推奨するという決議を採択しました。

このようにして、R L I の活動は自然発生的に全世界にクラブサイドのロータリー研修組織として発展しています。現在のR L I は、米国のみならず、日本では約30地区、世界では約410以上の地区でR L I の研修セミナーが実施されています。

3. R L I の目的

1) ロータリーの活性化

ロータリアンとしての自主性と卓越した指導力を涵養しクラブとしての刷新性と柔軟性を育てる  
→ロータリアンとしての成長とロータリー観の確立

2) クラブ全体で人を育てる

クラブを超えての出会いを増やしロータリーとしての繋がりを持ち、奉仕の心、円満な交際(寛容・忍耐・礼節 義理人情)、上手な自己管理 (生活・行動時間)、リーダーシップなどを身に付ける機会を設けることによる

3) クラブの活性化

- × クラブの特定のリーダーを育成
- 一人ひとりのリーダーシップを育む

4. 今、必要とされるR L I

1) 背景と問題点

ロータリー創始から100年以上が経過し 社会も人の意識も変化ロータリアン世代間の意識や価値観に大きなギャップが生じている。これらはロー

タリー活動に直接的・間接的に支障をきたしている。(先進国におけるロータリアン数の減少など)

2) 考えられる解決策

問題とされる要因を根本的に整理し、自発的に十分に話し合い (ディスカッション)を行ない、ロータリアン一人ひとりがロータリーについて、正しく、より知識を深める

3) 期待できること

さまざまな考え方を謙虚に話し合うことができ、人を思いやり、尊敬し合う価値を享受しながらロータリー精神や情報の勉強の場を構築し、ロータリーの奥深さを知ることによって啓蒙活動に役立ち、公共性イメージの向上、 会員増強、退会防止に繋がる

5. R L I と第2500地区

1) R L I は、優先順位の高い研修プログラム

世界的にも日本国内でも各地区のR L I 導入が進み、プログラム内容も充実し、様々なカタチでロータリー活動やその他で多くの良好な結果が出ていることが証明されています。

日本のなかでも、範囲が広大な面積を誇る第2500地区においては一堂に会する機会も少なく、また距離も遠いことから、より充実した中身の濃い、効率性の高いプログラムが必要と考えられます。

2) R L I は、重要かつ有効な研修プログラム

取扱われる話題には、 効果的な奉仕プロジェクトやロータリー財団などが挙げられ、自らの役割や責務、目標設定、クラブ役員の人選と準備、クラブ管理運営、 会員増強と退会防止、広報そしてR I や地区の支援源などについてで、会長エレクトが学ぶ「会長エレクト研修セミナー」(PETS: P residents-Elect Training Seminar) の内容に関連性が高く、重複または付属している項目も少ないことから 非常に重要かつ有効な研修プログラムであると考えられています。このため、第2500地区と致しましても、各クラブ様からのご参加を強く要請させていただくところです。

6. R L I 研修の特色

1) 討議・ディスカッション

- × 講演型
- 参加型

決められたテーマについて受け身ではなく、自分から積極的に発言し、みんなで自由に意見を出し合い、根本的な部分からロータリーを高めていく

2) 主な実施方法

- ・研修は、パートⅠ～Ⅲで構成



- ・各パート6セッション(各セッション50分)
  - ・ディスカッションリーダーが進行役を務める
- 3) 参加者(リーダー)の方々に期待すること  
意見の相違を協調的に解消し、合意形成のスキルを身に付け、思いやりや忍耐力を積み、信頼され、人望を集め最終的には、人間力を大きくする

7. ディスカッションのルール

- 1) 参加者の心構え
- ・ディスカッションでの発言に正解はない
  - ・自由にディスカッションへ参加する
  - ・他人の発言に対して寛容に
  - ・自分と異なる視点に感謝する
  - ・楽しく議論する
- 2) 参加者のみなさんは対等
- ・年齢や入会歴を気にしない
  - ・相手の意見を尊重しつつ、伸び伸びと自由に発言してよい
  - ・RLIは語り合う場、気付きの場、拓かれた場

8. 第2500地区のRLI

- 1) 位置付け  
今期より「RLI委員会」を設置しました。第2500地区ではRLIを「ロータリーの理解を深め、ロータリアンが繋がり楽しく活動をする」ための手がかりとして、このプログラムを実施いたします。

- 2) 開催時期
- ・パートⅠ 2022年11月13日(日)
  - ・パートⅡ 2023年1月22日(日)
  - ・パートⅢ 2023年3月12日(日)
  - ・卒業コース 未定

※おひとりの方が、全てのパートを受講いただくことでRLI研修修了となります(複数のクラブ会員様で分担受講はできません)。

※やむを得ず、いずれかの日(パート)やセッションを受講できな かった場合、次年度以降に同一者の方が当地区開催のRLIにて 不足部分を受講するか、他地区の開催で対象部分に参加いただくことで修了とみなされます(代用受講)。

- 3) 登録料  
当地区開催の上記3回の合計で5,000円(テ

キスト代込み)。  
※登録料の一部または全額の返金はできかねます。代用受講もありますので是非修了してください。

- 4) タイムスケジュール(時間厳守)
- 入室可能時間 8:20
  - オリエンテーション 8:50
  - 開会式 9:00
  - セッション1 9:30 (実施50分+休憩10分)
  - セッション2 10:40 (実施50分+休憩10分)
  - セッション3 11:50 (実施50分+休憩10分)
  - 昼食 12:40
  - セッション4 13:20 (実施50分+休憩10分)
  - セッション5 14:30 (実施50分+休憩10分)
  - セッション6 15:40 (実施50分+休憩10分)
  - 閉会式 16:35
  - 終了 16:50

※パートごと全6セッションの受講で、1パート分の修了となります  
※途中参加や退室は受講したことになりません  
※上記スケジュールの内容は変更される場合があります

- 5) 開催方法  
オンライン→広域な2500地区の現状を考慮して、オンライン開催を基本として実施します。

- 6) 参加要請対象(どなたでもご参加いただけます)
- ・会長エレクトの方はぜひご参加ください
  - ・幹事エレクト、または次期クラブ研修リーダー
  - ・入会歴が比較的浅く、ロータリーをもっと知りたい方など

- 7) パートⅠ～Ⅲのセッションの修了後  
ディスカッションリーダー(DL)の資格とバッジの付与、地区のDLメンバーに参画(任意)

- 8) RLI受講のその他メリット
- ・クラブ内研修のキーパーソンとして活動可能
  - ・クラブおよび分区を超えた交流が可能
  - ・自身の所属クラブ以外の雰囲気を感じられる

- 9) 他地区のRLI 開催情報  
以下のURLから確認することができます。  
RLI日本支部  
[https://rli-japan.org/holding\\_info/](https://rli-japan.org/holding_info/)

■次週のプログラム予定

「休会」

■閉会宣言

■点鐘 福田 和彦 副会長

例会案内

- 〈月曜日〉広尾RC:日高信金広尾支店 〈水曜日〉帯広RC:ホテル日航ノースランド 〈木曜日〉足寄RC:足寄銀河ホール21
- 帯広南RC:北海道ホテル 上士幌RC:川村福祉会館 清水RC:清水町中央公民館
- 〈火曜日〉芽室RC:めむろーどセミナー 音更RC:ハビオ木野 帯広西RC:北海道ホテル
- 帯広東RC:ホテル日航ノースランド

■出席報告/窪田 篤弘 出席委員長

会員数	計算に用いる 会員数	ホームクラブ 出席数	マークアップ	欠席	出席率